'73 6
No. 13
昭和48年6月1日発行
発行　横越村役場

広報よこごし

おもな内容
1.6月1日から水道週間（P1）
2.議会常任委員長など改選さる（P2）
3.交通事故指数県下で二番目に悪い（P3）
4.47年度優秀農家決る（P2）
5.愛の献血車ゆうあい号
木津、二本木地区に来る（P3）
6.虚礼改善運動高まる（P4）

県指定天然記念物（昭和四十二年十二月二十五日指定）　木津

水道で伸びる生活豊かな未来

6月1日～7日　第15回水道週間

水を大切に使いましょう

「生活と健康を守る」かけがえのない水道は、「清浄、豊富、低廉」をモットーに運営されています。この水道は総人口の八二・七％（全国）の普及率に達しておりますが需用水量はふえるばかりで、大都市では一人一日四〇〇リットル、本村でも二〇〇リットル前後の水を使うようになり、水源の開発、公共水域の水質汚濁、苦しい水道財政、水道の広域化等の諸問題をかかえているのが現状です。

水の需用は、今後生活の高度化とともに増加する一方で限られた水資源を計画的に、有効的に使っていかないと、数年後には水きんが起るともいわれております。

特に水道は、水源から水を引いて色々な施設で科学処理をし、きれいに消毒したものを送っています。従って水道は不足したから引けばよい、というものではありません。高い経費をかけて、水をつくっているといってもいいでしょう。ですから一人一人が大切に使って、大勢の人から喜んでもらうようにしなければなりません。

そこで国では、毎年六月上旬を水道週間と定め、私達の生活と健康のために、水道の果している重要性を再認識してもらい、あわせて大勢の皆さんから水道に親しんでいただき、水道事業が健全に発展できるよう一層のご協力を願っています。

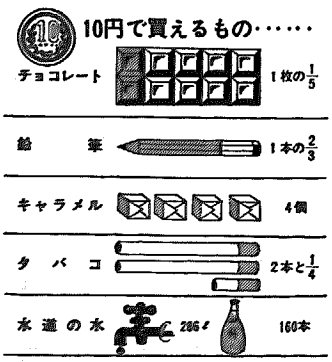
水道の普及率（四七年）

全国	八二・七％
新潟県（19位）	七九・五％
横越村	九一・五％

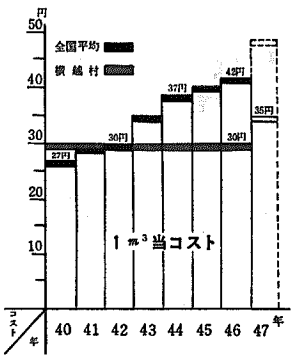
現在、村の水道は藤山、駒込、焼山を除いてほとんどいきわたっているほか、新潟市大江山地区の一部にも給水しております。

焼山地区では、木原水道企業団からの給水について目下協議検討中で、藤山駒込地区は、新潟市との企業合同の進展とあいまって、給水がはかられる見込です。

水の価値を考えなおそう



水道の料金



横欅

先日、県でまとめた交通事故の統計が新聞紙上に発表されていました。それによると横越村は「悪い」成績のトップ三か町村の中にはいっていました。統計のとりかたが人口比率によるもので、実際の件数が少くても比率があがるということもあるでしょうが大変残念なことです。酔っぱらい運転、子どもの事故などの数項目にわかれて統計されているのですが、その中で特に悪いのは子どもの事故で、悪い方のトップであり第二位の二倍くらいの点数が出ています。原因別では道路への飛び出し事故が圧倒的に多いのです。

交通安全については、学校はじめ安全協会、県関係機関で熱心に指導されて、それぞれ効果をあげていられますがこの統計によると成績があがっておりません。この原因は横越村の生活環境の関係もあると思います。国道や県道を除いた地域では比較的車の交通量が少なくて、子どもたちが自由に遊び廻ることができるのんびりした環境から、国道や県道へ出ると急に交通量の多い、スピードを出して走っている車の波によっつかってしまう。急激な変化に対応できないということもあるのでしょう。然し、最近は村中の通りも交通量が多くなって子どもの遊び場がなくなる傾向が強くなりました。

子どもの交通事故ほど痛ましいものはありません。人ごとと思っていても何時自分の身にふりかかるかわかりません。学校や安全協会がいくら努力をしても、村の方々一人一人が事故防止についての意識を高めて、特に家庭で子どもに対する指導徹底を図っては効果があがりません。今後は村ぐるみで事故防止につとめ、汚名を返上するように努めたいものです。（田中）